



学校だより

登校わくわく 学校いきいき 下校にここに

千葉市立千草台東小学校

No.3 (6月号)

令和8年6月15日

目標をもって一生懸命にがんばる「ひがしっ子」

校長 山本 貴洋

6月最初の日曜日、関東地方の梅雨入りが発表されました。それ以降、梅雨らしい空が続いています。プール脇の紫や青など色とりどりの紫陽花が、梅雨に濡れて美しく映える時季を迎えました。雨具を手にすることが多いのですが、このような季節でも、紫陽花に負けまいと言わんばかりに、千草台東小の子どもたちは、生き生き元気に笑顔で過ごしています。

5月23日(土)には千葉開府900年記念「笑顔と緑の大運動会」を実施しました。大勢の保護者や地域の皆様には、朝早くから熱い声援や温かな拍手をいただき、心より感謝申し上げます。片付けにご協力いただきました保護者の皆様にも感謝いたします。ありがとうございました。子どもたちは『笑顔満開 力を合わせて 駆け抜けろ』というスローガンを胸に、徒競走や障害走、団体種目、表現(ダンス)種目などを頑張りました。また、力強い応援団のかけ声を中心に、赤組も白組も甲乙付け難い合戦を繰り広げ、全校の声が大空に響き渡りました。競技や演技だけでなく、前日準備や当日の運営に先頭に立って活動していた6年生の子どもたちは、ひと際大きく力強く輝いて見えました。全校の子どもたち一人一人が一生懸命に取り組む姿に感動した一日でした。競技終了後には、どの子どもの表情にも、達成感と安堵の笑顔を見ることができました。気持ちを一つに頑張った「ひがしっ子」は100点満点です。そしてそれを陰で支え、子どもたちの発達の段階を考慮し、そのよさを十分に発揮させようと、準備や演技の指導を行った担任に拍手を送りたいです。また、前日まで二日間も降り続いた雨で水たまりが目立ったグラウンドを安全に競技や演技ができる状態にまで整備した教職員について誇りに思います。

3・4年表現 東小のアイドル、ラストライブ!

A・R・A・S・H・Iの曲に乗って、めりはりのある動きのダンス。後半はさわやかな季節にマッチした青と白のフラッグを使い、旗を振るたびに響く旗の音が揃っていて、鳥肌が立ちました。



5・6年表現 東小ソーラン2026～団結を伝統へ～

かけ声に圧倒されました。かけ声と同時にずっしりと力強さのある団結し、統率された動きに、さすが高学年の演技だなと感じました。下級生の憧れとなり、これが東小のよい伝統なのだと感じました。



1・2年表現 かわいすぎて減

元気いっぱい張り切って踊り、リストバンドも笑顔もきらきらと輝いて、見ていて表情が緩みました。かわいすぎて減!そして、好きすぎて減でした。



さて、スポーツ界では、今、バレーボールのネーションズリーグやサッカーのワールドカップが注目を浴びています。スポーツニュースやスポーツ紙では、期待や前評判、順位予想や試合の解説などが報じられています。世界大会ともなれば、国を上げて注目し、応援されるため、日本の代表選手は相当なプレッシャーを感じていると思います。しかし、世界で戦う選手ともなれば、そのようなプレッシャーは物ともしない精神的な強さやモチベーションを備えているように思います。選手がインタビューを受ける場面を見ると、必ずと言ってよいほど、“目標”を耳にします。これは小学生にも通じるところがあります。先月行った運動会では、6年生の実行委員長にインタビューしたところ、スローガンや目標を述べてくれました。また閉会式では各学年の代表の児童が頑張ったことを述べてくれました。(ひがしっ子通信 No.8、No.9に掲載)“目標”をもつことで、①自分(達)の行動の方向性が定まる。②モチベーションを保持しやすくなる。③やり終えたときに達成感や充実感を味わえる。④成長や次の課題が見付けやすくなる。⑤困難に直面しても踏ん張る(頑張る)要因になる。…など、多くの利点があります。学校生活でも、子どもたちには目標をもって取り組むように声をかけています。その目標は、必ずしも大きく、立派である必要はありません。小さな目標でも達成し積み重ねることで、大きな成長へとつながります。また、学校だけではなく、家庭や習い事など、目標を立てて頑張る場面は様々です。他人と競い合うことも必要ですが、他人と比べることはなく、その子どもの頑張りの努力を励まし、認め、自身や成長へとつなげるように見守っていきたいところです。

梅雨時期ですので、子どもたちの健康管理にはより一層注意を払いながら、指導にあたっていきます。今後も、ひがしっ子のために、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。